

「新しい軍記関係資料論—理文融合型研究の現在」

2020年12月12日（土） 1300～1730

オンライン開催、参加ご希望の方は事前に (iriguchi@nijl.ac.jp) まで、メールでご希望をお知らせください。

総合司会 井上泰至(防衛大学)

1310【基調講演】40分 石塚晴通（北海道大学名誉教授）

「コディコロジーの述語（文理融合型総合典籍学）」

1400【第1部 科学的分析法を使った紙質資料論】

竹内洪介（北海道大学院生）「聚楽行幸記の写本学」

須田牧子（東京大学史料編纂所）「豊臣秀吉冊封関連資料に紙質から迫る」

コメンテーター 佐々木孝浩（慶応義塾大学斯道文庫長）

堀新（共立女子大学教授）

1550【第2部 デジタル技術による資料の分析・再生】

山本洋（金沢大学）「計量テキスト分析を用いた戦国軍記の分類」

薄田大輔（徳川美術館）「デジタル技術による合戦屏風の再生」

コメンテーター黒田智（金沢大学）・湯浅佳子（東京学芸大学）

1730 終了予定

（なお、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、プログラムの変更が生じる場合があります。お含みおきください。）